



しののめYMCAC子ども園 園だより

2025年度 1月号

発行者: 子ども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

1月聖句 イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人ともに愛された。

ルカによる福音書2章 52節

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2025年は、保護者の皆様によくのお支えとご協力をいただき、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。そして2026年も、変わらぬお支えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

12月、子どもたちはイエスさまのご誕生をお祝いする準備を進めてきました。静かに手を動かしながらオーナメントを作り、またお父さんやお母さんへのプレゼントにも心を込めて取り組みました。このように静かに過ごす時間を大切にしながら、心を躍らせていました。二学期の子どもたちは、「動」と「静」の両面を経験する中、心も大きく成長をすることができたと感じています。

親子のクリスマス礼拝はいかがでしたでしょうか。各学年それぞれ、年歳や成長に応じた礼拝を持つことができました。礼拝後の園生活の中では、礼拝で歌った歌やメッセージを口ずさむ姿も見られ、「初めてのクリスマスのお話」は、子どもたちの心に深く残ったようです。

師走のお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

いよいよ、まとめの三学期が始まります。一日一日を大切にしながら過ごしていきたいと願っています。一学期、二学期と、子どもたちは神様から与えられた「育つ種」を大切に育み、その子らしく成長してきました。三学期は、その成長を土台として、さらに豊かに実を結んでいくときです。私たちは、子どもたちにとっての豊かな土壌となり、水を与え、肥料を施し、支えながら、その大きな成長を共に喜び合っていきたいと思えます。

三学期も保護者の方々と共に、より豊かな日々を過しまいりたいと願っております。
どうぞ宜しくお願い申し上げます。

訃報

約10年間にわたり、子ども園を支えてくださいました保育者の若林友美子先生が12月19日(金)早朝にご逝去されました。

若林先生は、園では「縁の下の力持ち」としてさまざまな業務を担い、子どもたち一人ひとりに寄り添ってくださいました。そのお人柄は、子どもたちにも深く愛されていました。

若林先生、これからは天から私たちをお見守りください。

心より感謝と哀悼の意を表し、安らかな眠りをお祈りいたします。